



よくやった！四中！緊迫の空気から勝利へ！

全国大会へ！剣道！男子団体！女子個人高田！

水泳！大会新記録、県中新記録樹立！200・400m個人メドレー松坂！

7月19日～22日に県内各地で山形県中学校総合体育大会が行われました。これまでの練習の成果を発揮してくれました。混戦の中を勝ち抜き東北大会、全国大会への出場権を獲得した競技もあれば、惜しくも悔し涙を流した競技もありました。いずれも、Nextstageに挑戦です。この経験を生かし、さらに四中を、失敗を恐れず挑戦できる骨太の学校に引き上げてほしいと思っています。（個人戦については入賞者のみの掲載）

☆剣道競技

- ・男子団体 第1位 **東北・全国大会出場**
叶内倫太郎（3-1） 高橋怜士（3-2） 武田宝冠（3-4） 押野大吾（3-4）
工藤煌大（3-1） 鎌倉一晟（3-2） 後藤明亨（3-1）
- ・男子個人 第3位 工藤煌大（3-1） **東北大会出場**
第5位 押野大吾（3-4） **東北大会出場**
- ・女子団体 第3位 **東北大会出場**
五十嵐瑠愛（2-2） 青木花音（3-2） 立里音桜（3-4）
高田奈々希（3-3） 鈴木心菜（2-3） 加藤希々花（2-3）
- ・女子個人 第2位 高田奈々希（3-3） **東北・全国大会出場**

☆水泳競技

- ・男子200m個人メドレー 第1位 松坂琉星（2-3） **大会新！東北・全国大会出場**
- ・男子400m個人メドレー 第2位 松坂琉星（2-3） **県中学新！大会新！東北・全国大会出場**
- ・女子200m背泳ぎ 第7位 後藤由奈（2-2）
- ・女子200m個人メドレー 第6位 後藤由奈（2-2）

☆陸上競技

- ・男子800m 第5位 井藤慶（2-1） **東北大会出場**
- ・男子2,3年1500m 第6位 井藤慶（2-1）
- ・女子走高跳 第5位 石澤凜華（3-1） **東北大会出場**
- ・女子共通200m 第8位 高橋りの（3-2）
- ・女子4×100m R 第7位 伊藤希（3-4） 高橋りの（3-2）
菅原心花（3-2） 須藤杏（3-2）

☆柔道競技

- ・男子50kg級 第2位 宇田晴哉（2-2） **東北大会出場**
- ・男子73kg級 第2位 清野悠翔（3-3） **東北大会出場**

☆体操競技

- ・男子個人総合 第5位 伊藤壽志（3-3）
- ・男子あん馬 第3位 伊藤壽志（3-3）
- ・女子個人総合 第6位 伊藤優梨香（1-3） **東北大会出場**

☆ソフトテニス競技

- ・女子個人ダブルス 第5位
村形胡桃（3-3）
舟山明依（1-1）

☆ソフトボール競技

- ・二回戦敗退

☆軟式野球競技

- （天童エンジェルスで出場）
- ・一回戦敗退

☆卓球競技

- ・女子団体一回戦敗退

一学期終業式
学年代表の言葉

一学期の始まりには一枚もなかった柏の葉が今ではすごい数になりました。知らず知らず成長していることを実感しています。

「出会いの一学期」

中学生になった一学期、私はたくさんの出会いを経験しました。最初の出会いはクラスの友人との出会いです。中学校入学から四ヶ月が経ちました。はじめの頃は、仲の良い友達としか話していませんでした。その状況を変えるため、自分からたくさん話しかけたことで、新しい友人もでき、今は居心地良く生活できています。一方で課題もあります。友人が今すべきことと違うことをしていることに気付いていても、勇気を出して注意できないことです。お互いに伝え合える関係が本当の友情だと思うので、これからは勇気を出して友人に声がけをしていきたいです。

1年1組
古澤希乃芭

次の出会いは部活動との出会いです。私は陸上部に入部しました。先輩方の仲が良く、私もあの輪に入りたいと感じ、入部を決めました。入部してからは、先輩方が一年生を気遣ってくれることもあり、自分の目標に向かって、伸び伸びと活動することができています。また、先輩方と練習の合間に何気ない会話をし、仲を深めることができ、とても充実した毎日を過ごしています。

最後の出会いは、新しい自分との出会いです。先月、初めて挑んだ定期テストで自分の現状を知りました。私は、小学校の頃から勉強が苦手です。だからこそ、頑張らなければならないのに、いつもあと一步のところで立ち止まってしまう。そんな自分から生まれ変わるために、テストのあとから、次の二つのことを実践しています。「自学ノートに丁寧に取り組むこと」「授業に真剣に本気で向かうこと」です。二つの取り組みを始めてから一ヶ月、私は学習に対して前向きな新しい自分と出会えたと感じています。

たくさんの出会いがあった一学期、その一つ一つの出会いが私を成長させてくれました。これからの中学校生活にも、まだ見ぬ出会いが待っています。その出会いに感謝しながら毎日を悔いのないよう頑張っていきたいです。

「一学期頑張ったこと」

私は一学期に頑張ったことが二つあります。

1つ目は、勉強です。定期テストでは目標点を取るために自分の現状を知り今自分には何が足りないのかを考えて勉強をしました。授業の間を使って友達と問題を出し合ったり、わからないところは先生に聞いたりすることで、苦手なところをなくしていきました。また、得意なところはどんどん伸ばしていきました。ワークを2周以上解くことや、問題集を使って勉強したことを生かして解くことを頑張ったことで目標点に近い点数を出すことができました。このようなことから計画を立て、それを行動に移す大切さを感じました。

2年1組
井藤慶

2つ目は、部活動です。私は陸上部に所属しており全国大会を目標にして練習をしてきました。日々の練習はもちろん朝起きたら走りに行ったり部活が終わった後は筋トレをしたりして頑張りました。全国大会には、あと少しというところで行けませんでした。東北大会には出場できるので、そこでは決勝に残りたいです。そして来年は必ず全国大会に行きます。

二学期にも定期テストがあるので計画的に勉強することと、わからない問題をそのままにせず問いの形を作って質問をして自分のためになるような行動をしたいです。部活動では新人戦があるのでそれに向けて練習を行い、自己ベストを更新できるよう頑張りたいと思います。

「一学期を振り返って」

私はこの1学期、特に2つのことから成長することができました。

1つ目は、修学旅行です。小学生の時の修学旅行はコロナ禍で県内だったため、初めての県外での修学旅行でした。班別研修では駅の出入り口がいくつもあって、電車の乗り換えなどに戸惑い、大変なこともありましたが、駅員さんに道を聞いたりしながら全員で協力して乗り越え、さらに班員との絆が深まりました。また、研修場所には外国人観光客も多く、英語で話したり一緒に写真を撮ったりする機会もありました。修学旅行を通して、以前よりもコミュニケーション能力や社会性を養うことができ、充実した修学旅行となりました。

3年2組
菅原心花

2つ目は部活動です。今年の中総体は中学校生活で最後の中総体です。3年間の部活動の集大成となるように、これまで以上に強い気持ちで練習に励みました。練習で上手くいかず、気持ちが落ち込む時もあり、練習をしていく中でこんなに頑張っても結果が出ないのではないかと不安に思う瞬間もありました。そんな時、いつも近くで支え、応援してくれる家族の存在や、同じ目標を目指し、切磋琢磨し合える部活の仲間にも勇気もらい、自分自身を鼓舞して頑張りました。どんな結果でも最後は笑って終わろうと決め、最後の最後まで諦めずに戦いました。結果は、自分の目標には届きませんでしたが、本気で目標に向かって努力したことは無駄なことではなく、この3年間の部活動の中で人として大きく成長できたと思います。

私たち3年生にとって、夏休み明けの2学期は、大きな2つの行事とともに、進路決定に向けて勉強にも励まなければならない大事な学期となります。一学期で得た経験を十分に活かし、さらに大きく踏み出してnext stageへと進んでいきたいです。



女子チーム、県中駅伝競走大会へ始動！

10月5日（土）の県中駅伝競走大会に向けて、新たにチームが結成され、朝練習が始まりました。3年3組和田芽さんをキャプテンとして、頑張っています。写真は結団式の様子です。



一学期終業式のあいさつより **たくましく育ってますよ、四中生！**

校長 石山 重典

72日間の1学期が終わりました。皆さんにとって、どのような学期になったのでしょうか。あっという間に過ぎたという感じが、振り返ってみると四中生のキラキラ輝いている姿、一生懸命取り組んでいる姿があったと思っています。

4月には、地区中駅伝大会がありました。選手は昨年冬から練習を続けていました。当日、男子チームも女子チームも、四中生の応援に後押しされてデッドヒートを繰り広げ、女子チームが2位となり、県大会への切符を手に入れました。四中生が輝いた日となりました。女子チームの県大会での活躍を期待します。

5月には、生徒会総会と各学年の校外学習等がありました。各学級での議案書審議をしっかりと行い、準備し、本総会では生徒会執行部のリーダーたちが応答する整然としたものになりました。また、修学旅行（3年）、四中ハローワーク（2年）、地域探訪（1年）等、体験からの学びとして、教室では見られない経験と、教室では見られない友達のいいところを見つけることができました。

6月は、地区中総体と定期テスト。これまで、仲間と練習に励み臨んだ地区中総体。激戦を勝ち抜き、県大会には9競技62名の四中生が出場権を勝ち取りました。また、学業の方では、今年度初めての定期テストに向かいました。1年生は初めての定期テスト。2、3年生はこれまでの反省を生かした取り組みで臨んだ人が多かったようです。さて、結果はどうだったでしょうか。

そして、7月地区吹奏楽コンクール、県大会、校内弁論大会。吹奏楽部は、素晴らしい響きで県大会への切符を獲得し、8月4日の県大会に駒を進めました。県大会の各競技において、胸が締め付けられるほどの緊張感の中で、悔し涙を流し次のstageへの決意を固めた人もいれば、勝ち抜いて東北大会、全国大会への出場権を手中にした人もいました。

今年は「四中一人一人がNextstageに挑戦！」と重点のスローガンを掲げ、それを目指して、皆さんにも先生方にも話をし、その姿を意識した四中になることを目指しています。もちろん、大会やコンクールでの上位大会への出場権を獲得したことは、文字通りのNextstageでの挑戦です。一段stageが上がれば、見える風景が違います。その風景を見れる経験だけでも、人間は成長します。

しかしながら、負けたことや失敗したことの方が、人間は学び成長すると言っている人の方が多いのです。考えてみてください。日本一を目指し頑張りますが、一つの学校、一つのチームしか日本一の椅子はないのです。負けたとき、自分はどういう気持ちで、どんな行動に移すか、そこでの学びから実際の行動に移すかが、生き方の分かれ道となるのではないのでしょうか。それが次のNextstageでもあると思うのです。

最後に、県大会をたくましく勝ちきった四中生の姿を紹介します。

陸上部の石澤凜華さん。県大会最終種目のリレー競技が終わった後、東北大会出場を懸けた走り高跳びの対一の決戦がありました。緊張した空気の中で、跳んだり落としたりを繰り返し10本以上跳んだそうです。石澤さんはその緊張とプレッシャーがかかる中で勝ち取りました。その時の状況を聞きましたが、みんなの応援がエネルギーになったことと、絶対東北大会に行きたいという思い、三年生として、二年生に負けたくないというプライドなどで、強い気持ちを持てたのだそうです。

剣道部の工藤煌大さん。男子団体の全国大会を懸けた決勝戦。実力伯仲で大将戦を終え同点。代表による優勝決定戦になりました。剣道は声を出して応援することはできません。拍手のみの応援です。どちらかが一本とった方が優勝。そして、全国大会への出場が決まる戦いです。緊張の中、代表戦も伯仲し、決まらず延長が3回。そこで、工藤君の胴がぎまりました。どちらも考えられないような緊張の中で、勝ちきった二人です。

私自身皆さんの姿から学んだことは、逃げずに挑戦する姿のカッコよさ。強い気持ちを持ち勝負に臨むための準備・練習の大切さ。今ある力を出し切るためには、ひたむきに応援してくれる仲間存在の大きさ。そして、その姿は人の心を動かせる、いわゆる感動させることができるということです。校長先生は皆さんから学んだ1学期となりました。ありがとうございます。

2学期の始業式を一人も欠けることなく迎えらることを皆さんと約束して、終業式のあいさつにします。

天童地区少年の主張大会へ四中代表決まる！8月26日14:30～市民文化会館にて！

天童市防犯協会主催の標記大会が開催されます。その学校代表を選考する校内弁論大会が7月25日体育館で行われました。各学年から各2名、合わせて6名の弁士が堂々と主張しました。代表は以下2名になりましたが、四中生一人一人が国語の時間で学んだ弁論の書き方を基本にして作成し、学級や学年弁論大会で発表しました。いろんな考えや視点があることを学んだ時間になりました。

<代表者>

押野沙悠（1-2）「当たり前じゃない今を大切に」
鎌倉一晟（3-2）「時間で切り拓く未来の道」



令和6年度山形県中学校総合体育大会
剣道競技男子団体優勝
R6.7.20村山市民体育館にて

72日間の一学期、無事終了しました。保護者の皆様、地域の方々には、ご理解、ご協力を賜りました。誠にありがとうございます。様々な場面での四中生の活躍がありますのは、皆様のおかげだと思っています。夏休み、2学期もどうぞよろしくお願いたします。

石山